『NEWS LETTER』

発行日 2020.10.2
北海道看護協会上川南支部保健師職能委員会

（はじめに）保健師職能委員会から会員のみなさまへ

日頃より北海道看護協会上川南支部事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

保健師職能委員会では例年、６月中旬に三職能合同集会を企画・開催して参りました。昨年度は、「災害時の備えと災害時支援を考える」をテーマに、北海道胆振東部地震の経験からと題し、千歳市保健福祉部救急医療課の鈴木幹子氏を講師としてお招き致しました。看護職がそれぞれの立場で、災害看護を考える機会となり大変好評でした。今年度も、近年話題となっているテーマで、看護職同士が語り合える三職能合同集会を検討しておりました。しかし、新型コロナウィルス感染症拡大を想定し、集団感染予防の見地から、当面の支部集合研修は中止しております。

そこで、保健師職能委員会は、多様な職場で勤務している保健師が、新型コロナウィルス感染予防として実践している対策や工夫点と、変化する社会情勢等をタイムリーに入手するために活用している公式サイトのご紹介をさせていただく事に致しました。ご多忙のみなさまに少しでもお役に立てていただければ幸いです。

北海道看護協会上川南支部　保健師職能委員長　松　田　哲　子

新たなつながり方の模索

私たち地域包括支援センターで働く保健師の役割の１つとして、地域介護予防活動支援があります。体操やおしゃべり等を目的とした活動団体が市内にたくさんあり、ご近所付き合いが希薄な現代において、他者とのつながりを持てる大切な場所ですが、新型コロナウイルスの影響により活動の自粛を余儀なくされています。フレイルや閉じこもりのリスクが高まる中、電話での安否確認や感染予防対策・体操資料等の配布を行うなど個別支援は行っていますが、通いの場への対応については、限られた会場・参加者の身体能力を考慮しながら、オンラインでつながることのできない高齢者が取り残されないよう新たな活動方法を模索しているところです。この誌面が皆さまの手元に届く時には、少しでも状況が改善していることを祈っております。

中央地域包括支援センター　高　橋　糸　子

■厚生労働省
政策について、福祉・介護

■厚生労働省
新型コロナウイルス感染症への対応について（高齢者の皆さまへ）

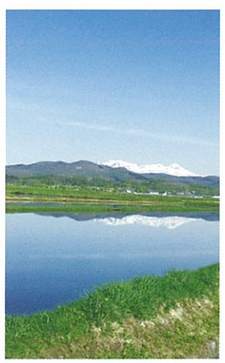
■一般社団法人
日本老年医学会：
新型コロナウィルス対策

新型コロナウィルス感染症拡大予防と教育活動

新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため旭川大学では４月中旬から休講となりました。

就職活動や資格試験受験に関わる授業や実習時間数の不安を抱える学生もおり、ゼミあるいは担任の教員が学生一人一人に電話で心身の健康状態を確認していきました。休講中は、学生の通信環境整備や教員のスキルトレーニングなどに苦慮しながらもオンライン授業で学習機会の確保に努めました。６月、緊急事態宣言が解除され、段階的に対面授業を再開しましたが、登学する学生の人数を減らすため、対面授業と遠隔授業の併用による分散登校、講義ごとに机の消毒と手指消毒、教室の換気、図書館、談話室は座席数を減らし対面にならない工夫、事務室や図書館カウンターに飛沫感染防止シート設置など新しい生活様式をふまえた感染予防策、３密とならない取り組みを続けています。

旭川大学　栗　原　律　子



コロナ禍でどう変化した？
～保健師の職場から～

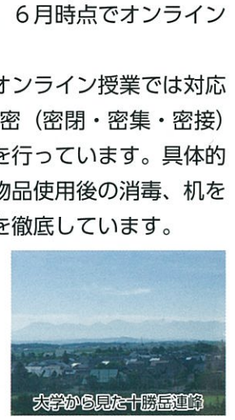
保健師教育における新型コロナウイルス感染予防の取り組み

大学では、新型コロナウイルスの影響により、６月時点でオンライン授業での対応をとっているところです。

保健師課程においては、少人数であること、オンライン授業では対応できない演習が多くあることから、６月より３密（密閉・密集・密接）を避け、感染予防対策を徹底し、学内にて演習を行っています。具体的には、学生の自己検疫、マスクの着用、手指・物品使用後の消毒、机を２m以上離しての設置、常時換気を行うこと等を徹底しています。

感染予防対策に試行錯誤しておりますが、今後、保健師として従事する学生にとって、学生時代から感染予防対策を身につけることは実践的な学びにつながっていると考えています。

旭川医科大学　水　口　和香子


大学から見た十勝岳連峰

コロナ禍でも健気に咲いている大学構内の桜

3歳児健診の問診場面

生活習慣病予防に関する健康教育場面

■役立つ情報の発信元
保健指導リソースガイド：
保健指導に役立つ情報・資料が掲載されています。

全国保健師教育機関協議会
ホームページ：保健師教育の充実を図るための情報が掲載されています。

上記２つのホームページは、今般の新型コロナウイルス感染症対応の情報につきましても、リアルタイムで掲載されております。

第３波に備えて、保健所は今…

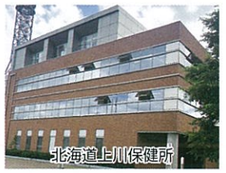
２月以降、全道の保健所保健師は新型コロナ感染症対策一色。疫学調査や移送等をしながら、鳴り止まない相談電話へ対応し、ときに理不尽な苦情に傷つきながらも、仲間と確認し励ましあいながら乗り越えてきました。

現在、上川保健所では新規患者発生の減少に伴い、地域の方々からの相談等も少し落ち着いてきました。今は、次の波に向けて力を蓄えるときと考え、関係市町や医療機関、消防署等とともに課題を整理し、体制を検討しているところです。

感染への不安や制限された生活によるストレスは、弱い部分にじわじわと染みこみ、精神や母子の相談も増えてきました。保健所では、地域の皆さんがマスクを取って心から笑い合える日を目指して、日々一歩を積み重ねています。

上川総合振興局保険環境部　保健行政室健康推進課　中　畑　佐和子

■新型コロナウイルス感染症
ご遺体の搬送・葬儀・火葬の実施マニュアル第５訂


北海道上川保健所

保健師のための積極的疫学調査ガイド
［新型コロナウイルス感染症］
患者クラスター（集団）の迅速な検出に向けて

ガイドについて

このガイドは、新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査に携わる保健師、特に、業務応援等で急きょ人員配置された保健師をサポートするための資料です。

国立感染症研究所が公表している「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」に基づいて、積極的疫学調査におけるクラスター検出の意義、実施時のポイントを解説しています。積極的疫学調査実施要領とあわせてご活用ください。

■国立感染症研究所「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」URL：https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2484-idsc/9357-2019-ncov-02.html

お役立ちサイト

厚生労働省：新型コロナウイルスに関するＱ＆Ａ
一般向け、医療機関・検査機関向け、企業（労務）向け等…に分類されており、信頼できる情報を得られる

経済産業省：界面活性剤や次亜塩素酸水の新型コロナウイルスへの有効性の調査等、参考になる記事が掲載されています

北海道：「道内の発生状況」の記事は毎日更新されますので、道内の患者数等を確認したいときはここが一番。

日本赤十字社：「新型コロナウイルスの３つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために」
第一の感染症は「病気」、第２の感染症は「不安」、そして第３の感染症は「差別」。このことをわかりやすく教えてくれます。多くの人に読んでもらいたい。

諏訪中央病院：新型コロナウイルス感染をのりこえるための説明書
へたうまい絵が絶妙。わかりやすくてなじみやすい。

国立感染症研究所：新型コロナ感染症だけでなく、感染症すべてに。

日本看護協会：「新型コロナ感染症関連情報」に、かなり使える情報がありますよ。ガウンテクニックの動画や検体採取方法等

国立感染症研究所「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」
Ver 1.0　2020年４月20日